

アーバンシステム環境通信

NO.4

2006年06月16日

世界環境デー

世界環境デーは環境保全に対する関心を高め、啓発活動を図ることを目的として1972年に日本とセネガルの共同提案により国連総会で制定されました。

世界環境デーの由来は1972年6月5日からスウェーデンのストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念したものです。

日本では、平成5年の環境基本法の制定時に記念日として環境デーを設けました。初めは1日だけの環境デーでしたが、6月は夏に向けて日に日に暑くなり、衣替えの時期でもあると同時に、冷房を入れ始める時期です。そのような季節の変わり目において、多くの人に環境への感心を高めてもらうため、平成3年度から毎年6月を環境月間と決めました。この環境月間中には全国で様々な催し物が開催されています。



6月は環境月間（日本）
6月5日は世界環境デー

【日本における活動紹介】

瀬戸内海では

ポスター、パンフレット等による普及啓発を行うとともに、環境保全に関する研修会、水辺での自然観察会等を行う。

兵庫県神戸市では

6月5日を語呂から「六甲山の日」と定め、環境の保全と観光の振興を持続的に進める「エコツーリズム」の観点から六甲山のこれからについて議論し、六甲山、エコツーリズムへの関心を高める。

東京都千代田区では

環境にやさしい暮らしと社会づくりを広く国民にアピールし、環境に対する国民の意識を高めていくため、国、地方公共団体、事業者、国民、NGO等の取組を、参加、体験等を通して誰もが楽しみながら理解できる環境展を開催する。

環境月間を気に冷房の温度を1℃上げるなど、小さいことから始めてみましょう！！

参考：環境省 <http://www.env.go.jp/guide/envdm/month/>